



東神吉っ子
・すすんで考える子
・心豊かな子
・強くたくましい子

No.7

令和7年9月22日
加古川市立東神吉小学校



読書がもっと楽しくなる!リニューアルした図書室から広がる世界



子どもたちの読書離れが全国的に進んでいるといわれます。加古川市でも、学年が上がるにつれて本を読む児童が減り、図書館の利用も少なくなる傾向が見られます。本校においても、読書習慣の定着や読書環境の充実が大きな課題でした。

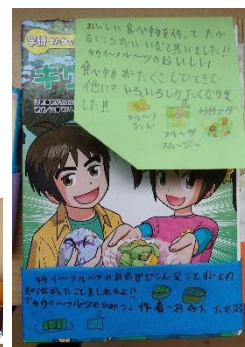
このような中、本校では今年度、図書ボランティアの皆さんが図書室の環境整備に積極的に取り組んでくださっています。掲示物の工夫や本棚の整頓など、子どもたちが本に親しみやすくなるような工夫が随所に施されています。

また、4年生は、新しくなった図書室でお気に入りの本を見つけ、紹介POPや「帯」を自作して他の児童に紹介する活動に取り組みました。

図書室の環境が整ったことで、本との新たな出会いが生まれ、

子どもたちが読書に親しむ姿が多く見られるようになっています。

※今年の「読書週間」は、10月27日～11月9日です。



少年自然の家で図工の学習をしました

9月11日に、5年生が加古川市立少年自然の家にある「ふれあいの森 工作館」で、図工の学習を行いました。テーマは「糸鋸を使って」の学習。子どもたちは自然豊かな環境の中、いつもとは違う特別な教室で創作活動に取り組みました。

工作館には、学校にはない豊富な工具が整備されており、子どもたちは糸鋸を使った作業に目を輝かせていました。最初はおそろおそろ刃を動かしていましたが、次第に使い方に慣れ、作品に個性を込めながら集中して制作に励みました。

制作の合間には、自然の中を駆け回ったり、ポニーと触れ合ったりする姿も見られ、心も体も解き放たれた一日となりました。

自然とふれあいながら、創造する喜びに満ちた特別な学びの時間。子どもたちには、自分の手で何かを生み出すことの楽しさと、やり遂げた自信が宿っていました。



自分に合った学び方で進める「自由進度学習」

本校では、ICTを効果的に活用した新たな学習スタイルの一つとして、一部の学年の算数の授業で「自由進度学習」に取り組んでいます。この学習では、児童一人ひとりが自分の理解度や学習の進み具合に応じて、教科書だけでなく、Chromebookを使ったり、友だちと教え合ったり、先生に個別に教わったりしながら、課題に取り組みます。解説動画や確認問題、発展的な課題などが段階的に用意されており、つまづいたところは繰り返し学び、理解が深まった児童は自分のペースで先へ進むことができます。

このような自由進度学習は、「わからないまま進む」不安や、「簡単すぎて物足りない」といった不満を解消し、子どもたちの主体的に学ぼうとする意欲を育むものです。1人1台端末が整備されたGIGAスクール構想の環境があってこそ実現できる、新しい時代の学びのかたちです。

今後も、一人ひとりの学びを支える環境づくりと、よりよい授業づくりを進めてまいります。

